

2026年5月11日

各位

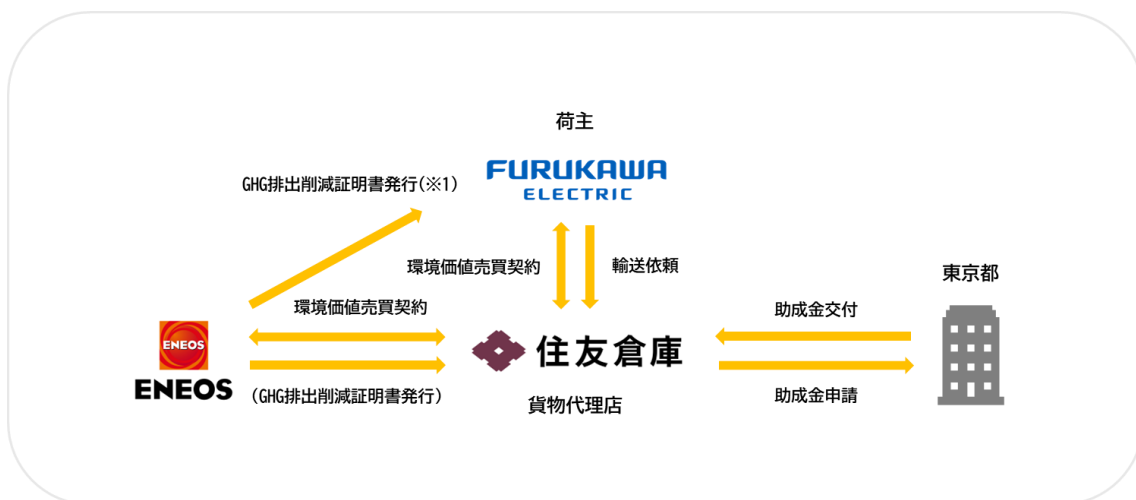
古河電気工業株式会社
ENEOS 株式会社
株式会社住友倉庫

古河電工、ENEOS、住友倉庫、SAF を活用した GHG 排出削減の取組み推進について

古河電気工業株式会社（本社：東京都千代田区 以下、古河電工）、ENEOS 株式会社（本社：東京都千代田区 以下、ENEOS）、株式会社住友倉庫（本社：大阪市北区 以下、住友倉庫）は、この度、東京都が実施する「企業の Scope3 対応に向けた航空貨物輸送での SAF 活用促進事業」（注 1）（以下、本事業）において連携し、持続可能な航空燃料（SAF：Sustainable Aviation Fuel）（注 2）の環境価値を活用しました。

本事業においては、貨物代理店として採択された住友倉庫と、荷主である古河電工が SAF の環境価値売買契約を締結し、ENEOS が有する SAF の環境価値提供スキームを通じて、航空貨物輸送における GHG（Greenhouse Gas）（注 3）排出を削減します。

具体的には、古河電工が住友倉庫に委託して輸送する航空貨物について、ENEOS が住友倉庫および古河電工の双方に対して、それぞれの SAF 利用相当量の GHG 排出削減証明書を発行しました。その結果、貨物代理店独自の SAF 環境価値管理プログラムを必要とせず、サプライチェーンにおける一気通貫での環境価値の利用が可能となりました。これは、GHG 排出削減を促進する先進的な取組みとなります。



（※1）：古河電工、住友倉庫間の契約に基づき、ENEOSが古河電工に証書を直接発行

古河電工、ENEOS、住友倉庫の3社は、本事業を通じて、航空輸送分野における脱炭素化を推進するとともに、サプライチェーン全体でのGHG排出削減に貢献してまいります。

- (注1) 企業のサプライチェーン全体におけるCO₂排出量削減への寄与を目的として、荷主が貨物代理店を通じて行う航空貨物輸送におけるSAF利用時に要する経費を東京都が支援する事業。
- (注2) 持続可能な航空燃料：廃食油、サトウキビ等のバイオマスや都市ごみ等を用いて生産される燃料。
- (注3) 温室効果ガス：二酸化炭素(CO₂)、メタン(CH₄)、一酸化二窒素(N₂O)など、地球温暖化の原因となる温室効果を持つ気体の総称。

<本件に関する問合せ先>

古河電気工業株式会社

広報部 fec.pub@furukawaelectric.com

ENEOS 株式会社

広報部メディアリレーショングループ pr@eneos.com

株式会社住友倉庫

事業推進部広報IR課 ir_bx@sumitomo-soko.co.jp